

時事新報

和ヲ斥ケテ戰ヲ取リ...

一昨夜上海ヨリノ電報ニ佛國公使ハ去ル十九日ヲ以テ北京ノ總理衙門ニ通牒シ四十八時間ヲ限リ佛國ノ要求ヲ承諾スルヤ否ヤノ返答ヲ爲スベシ若シ承諾セズトアラバ公使館ヲ引揚グルニ付通行券ヲ渡シ呉ルベシトテ最後ノ掛合ヲ爲シタルアリ蓋キニ支那全權大臣曾國荃ガ佛國公使「パアノートル」トノ談判ハ決然快テ拂テ上海ヲ立去リタルトノ電報到リタルヤ我輩思フク上海ヨリ佛國全權ノ談判モ爾ノ其終結ニ達シ到底和睦ノ工風ナクシテ戰場ニ相見ルノ意ヲ決シ何時開戦スルモ不都合ナキヤウ十分手詰メノ處置ヲ了リタル後サテ曾國荃ハ上海ヲ去リタルナラント然ルニ今佛國公使ガ前記最終ノ掛合ヲ爲シタルヨリテ十分手詰メ日曾國荃ガ上海ヲ去リタルハ既ニ終結ノ談判ヲ了リ十分手詰メ盡シタル上ノ事コアラズシテ談判尙未済ノ際ニ上海ヲ立去タルモノ、如ク然ルナリ斯クテ佛國公使ハ談判ヲ推進メテ急ギ終結ニ至ラントスルモ肝心ノ談判相手ヲ失ヒタルガタメニ進退如何トモスルコト能ハズ爰ニ於テ北京ノ代理公使ニ傳令シテ前記ノ如キ最終ノ掛合ヲ爲シメ償金ヲ拂フカ將テ拂ハザルカ二日ノ間ニ決答スベシ若シ拂ハズトナラバ戰場ニ相見ルノ外ニ工風ナキヲ以テ我ニ通行券ヲ與ヘテ退去ノ路ヲ開クベシト申出タルモノナルベシ是即チ和戰如何最終ノ掛合ニシテ一變以テ千鈞ヲ繫クノ所ナリ然ルニ昨朝又上海ヨリ電報ノ到達スルアリ曰ク佛國公使館ハ廿一日午後三時ヲ以テ北京ヲ引揚ゲタルトコレニ於テ我輩ハ一變速ニ絶エテ千鈞ヲ下リ支那政府ガ斷然和ヲ斥ケテ戰ヲ取リタルヲ知ルベシナリ

北京ヨリ天津ニ至ルノ道ハ日本里法ニテ凡ソ四十里ナリ佛國代理公使等ガ北京ヲ發シタルハ一昨廿一日ノ午後三時ナリナリ以テ天津ニ達スルハ極迅速ニシテ昨廿二日中カ或ハ或ハコレナクバ他國ノ船ニ搭シテ早ク南下シ來ルコトナラシニ上海ノ「パアノートル」公使モ各人既ニ安全ノ地位ニ達セタルヲ見越シタル上ハ必ズ本國政府ノ命令ヲ水師提督等ニ傳ヘテ直ニ開戦ノ處置ヲ取ルコトナラン此時ニ當レバ必ズ戰國ヨリ英國、美國、獨逸、米國及ヒ我日本等ノ如キ中立ノ國ニ向テ交戦ノ通知ヲ爲スコトナラン然レバ我輩亦或ハ恐レ未ダ戰國ヨリ交戦ノ通知ヲ得ザルノ前ニ忽チ支那ノ或ル部分ニ於テ清佛ノ兩軍既ニ戰端ヲ開キタルトノ報道ヲ得ルコトモアラフ若シ戰端ヲ開クトセバ何レノ處ニ於テコトナシキヤヤ蓋昔國ノ軍容就中佛國軍容ノ秘密ニ屬スルモノナリナリ以テ我輩コレ今日ニ明言スルコト甚ダ難シ佛國軍隊ハ目下多ク福州地方ニ集合シタルヲ以テ此處直ニ福州地方ヲ攻メ先ツ福建省ヲ占領シ後ニ漸ク北上シテ爲ス所ナラントスル軍路ナリナリ蓋昔國軍容ノ秘密天津地方河

口水合ノ憂ナク直ニ進テ京師ニ迫リ喉ヲ扼シテ背ヲ拊ツノ備ニ自在ナルベシ軍兵士ノ健康上ヨリ論スルモ台灣、福州地方南國炎熱ノ地ニ滞在シテ瘴烟毒霧ノ中ニ呻吟センヨリ寧ロ北地ニ來リテ山東、直隸地方ニ暑ヲ避クルノ上策タルベキ意味モアラフ故ニ目下佛國ガ南方ヨリノ輻湊シ其志ス所ハ福州ヲ奪フニ在リト聲言スル其最中ニ一夜竊カニ各其後ヲ解キテ北ニ航シ全艦隊一時ニ渤海ニ闖入リ疾雷耳ヲ掩フニ退アラザルノ策ニ出ル軍略ナルカ將テ又此等ノ外ニ別ニ奇策妙算ノ在ル有ルカ我輩ハコレ今日ニ知ルコト能ハザルナリ

我輩願ミテ支那ノ有様ヲ見ルニ一旦佛國ト開戦ノ上ハ先ツ必ズ敗レン再戰三戰同シク亦敗レン目下ノ實況ニテハ先ツ一ツノ勝算ナシト云テ可ナラン然レバ我輩又支那ノ爲メニ謀リテ一ツノ望ヲ屬スベキモノアリ夫ハ他事ニアラズ世乱レテ英雄現ハル、一事ナリ今支那ノ病弊ヲ見ルニ其最モ著明ナルモノハ衆有力者ヲ集合シテ一大國ヲ左右セント有方者個々其意見ヲ異コシテ相且互他ノ働ヲ妨害遮斷シ遂ニ無力ノ程度ニ達スル其有様ハ一使、老朽船ニ數十ノ船頭ヲ乘組メセタルモノニ異ナラズ未ダ洋面ニ出ズベテ早ク既ニ山ニ押上ラレザルヲ得ザルナリ然ルニ今佛國ト開戦シテ老將ハ戰没シ閣閣家ハ亡ブ天下四分五裂シテ國家陸沈ノ悲境ニ陥ルニ至レバ事ノ順序トシテ必ズ一個ノ英雄出現シ武ニ文ニ萬機ヲ左右スルノ自任力ハ唯此人一人ノ身ニ集マルノ社會ヲ造リ出サシ是即チ政令一途和スルモ亦善後ノ策アリ戰フモ亦人ト等フノ實力ヲ有スルノ時節ナリ是即チ今ノ四百餘州ノ腐敗氣ヲ一掃シテ光風霽月ノ天地ト爲スノ時節ナリ故ニ我輩ハ思フク清佛開戦セバ清敗レン敗ルレバ國亂レン亂弱マレバ治ノ回復スル時アラフ然レバ我輩ハ支那人ノ爲メニ不利トヲザルナリ

○最後の掛合 一昨夜上海ヨリ東京ニ或る方ヘ左ノ電報到達シタリ

佛國公使ハ十九日ヲ以テ總理衙門ニ公文ヲ通フ四十八時間ノ内ニ支那ニテ佛國ノ要求ヲ承諾ナキコト於テハ通行券ヲ申請セ度シト掛合ヒタリ

此電報の文意は十九日より向ふ四十八時間即ち二日間を期し支那政府より佛國政府の要求する償金(此金額は最初五千萬圓ありしかども過日上海よりの電報には三分の一即ち千六七百萬圓に減少したりとあり)を拂ふことを承諾すべし若し承諾なくバ平和の談判は是迄あり和親の使節たる拙者は最早此國に用なし遂より直ちに退去すべし故に故に戦陣中を通行し得るる通行券を下され度しとのことにて即ち和親の由て分かるる最後の掛合なり左れば佛國政府は前日維新軍の如き乱暴變則の交際法を改めて今度ハ整々堂堂正式の規則を履むに策に出でざるものと思はる然るも十九日以後既に十分に約款の時間を経過し了りたるが支

那政府は果して通行券を渡しざるか又ハ此土條約にて云はるる金の金を出して和陸を買ひたるや和親如何

○戦争に決したり 前項を記したりたる處ニ昨廿二日午前上海ヨリ東京の或る方ヘ又々左ノ電報到達したり

佛國公使館ハ廿一日午後三時北京ヲ引揚ゲタル

前項最後の掛合の電報にては結局の和陸を得るに尙ほ一線線の望みありしも事遂に請はず一昨廿一日午後三時を以て北京在勤の佛國代理公使以下は諸旗を仰して北京を引揚ひたりさて斯く兩國の戦争と決定したる上は何れの地方も何等の戦争始まるべきや更に測り知るべからざるに角に支那帝國の大事件東洋一般の大事件、續いては世界の大事事件を現これ出され

○上海の警報 一昨廿一日午後六時上海の電報昨朝横濱に達したり

上海河口ハ大船ノ通路ヲ止メ又同河口ニ石船ヲ沈メタリ右の電報よりレバ上海河口即ち吳淞沙邊に石船を沈たるものと見ゆる處昨夜に至り又上海より左の電報達したり

上海領事ハ國旗ヲ下シ自國ノ軍艦ニ乗リ移リタリ又英國軍艦ハ居留地ヲ警衛セリ

右孰れも危急に迫りたる電報あり吾々は猶後報を待て其詳細を知るを得べし

○清國公使密書ヲ發す 我邦駐在の清國公使は昨日長崎、神戸、横濱等の諸港に在る同國領事の許へ何か密書を發したるよし又聞く所によれば領事は孰れも至急北京する等ありと云ふ

○瑞典皇子 豫て我國ニ來遊の暇ありし瑞典皇子オスカール親王は同國軍艦ゾアナタニス號に搭して六月下旬布哇國ホノル、府に到着し暫時同所滞在中去月十一日同地を出帆せし由なれば不日横濱ニ來着すべしと云ふ同皇子には日本遊覽の上上海香港を経て蘇士運河より地中海入り本國ニ歸航する都合なりとぞ又同皇子の乗艦は噸數二千三百十噸まで大砲十六門を備置くもれなりとされば前報に掲げたる同皇子が既に長崎ニ着たりとの報は誤謬なるべし

○親王の茶話會 伏見宮貞愛親王には一昨日午後四時頃より麹町區紀尾井町の自館へ北白川宮及び山縣、伊藤、西郷の三參議を招き茶話會を催されたり

○西郷陸軍卿 同卿は昨日午前十一時頃より小石川砲兵工廠に至り各工場を巡視したり

○海軍卿 川村海軍卿は昨日より出省せしよ付西郷參議は同卿兼任を解きたり

○淺野公使 伊國羅馬府駐在特命全權公使淺野長勳君が米國を経て歸朝の途に就きたる由は既に前報の紙上に記載せしが同公使は此處羅育より桑港に到着し去る十九日同海軍の汽船にて歸朝の途に就きたる由電報ありし

○出張 大藏二等主税官大井昌兵は昨日午前四十五分横濱に出帆の汽船にて横濱實へ赴きたり

○官廳黨 縣へ出張せられたる

○出張 縣下へ出張せられたる

○府縣の四 彌中氏は去

○兵事 彌中氏は去

○會計 彌中氏は去

○獨逸國 彌中氏は去

○來朝人 彌中氏は去

○佛の萬曆 彌中氏は去

○連入を 彌中氏は去

○待過する 彌中氏は去

○たると 彌中氏は去

○國にて 彌中氏は去